

2024年1月15日

報道関係各位

GMO グローバルサイン株式会社

企業向け IDaaS「GMO トラスト・ログイン」、 国際標準認証規格対応の「FIDO パスワードレス認証」をリリース ～さらにシンプルで強固なセキュリティと利便性を両立～

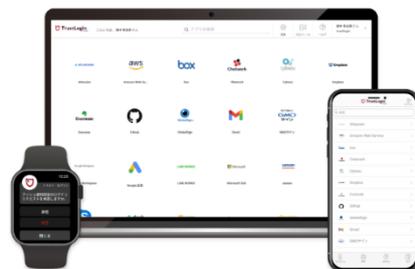
GMO インターネットグループの GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の連結企業群で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン）が提供する企業向けシングルサインオンサービス（IDaaS）「GMO トラスト・ログイン」は、2024年1月15日（月）に、生体認証の国際標準規格である「FIDO2」に対応した「FIDOパスワードレス認証」をリリースいたしました。^(※1)

「GMO トラスト・ログイン」において、近年普及している「パスキー」を用いたログイン認証方法を選択することが可能となり、より高度な認証セキュリティと利便性の両立を実現します。

(※1) FIDO 認証でのパスワードレス機能のご利用には、「GMO トラスト・ログイン」プロプランのご契約が必要です。

GMO トラスト・ログイン 新機能リリース！

FIDOパスワードレス認証機能



【リリース概要】

多くのクラウドサービスでは、「パスワード」による認証が主流となっています。しかし、「パスワード」を用いたログイン認証には、アカウント数に比例して増える「パスワード」を記憶・記録する負担の増加や、同じ文字パターンや推測しやすい簡易な文字列を使用することによるセキュリティリスクなどの課題があります。特にセキュリティの観点では、不適切なパスワード管理により脆弱性が高まり、不正アクセスや認証攻撃による情報漏洩が危惧されています。

「GMO トラスト・ログイン」は、クラウドサービスの ID・パスワードの増加が引き起こす、利便性の低下とセキュリティリスクという課題に対し、「シングルサインオン」による ID・パスワードの一元化によ

り、1度のログインだけであらゆるクラウドサービスや web システムへのログイン認証を可能とするソリューションを提供しています。

さらにこのたび、「GMO トラスト・ログイン」へのログイン認証で「FIDO パスワードレス認証」が選択できるようになることで「パスワードレス化」を可能とし、さらなる利便性の向上とセキュリティの向上を実現しました。



■ 「FIDO パスワードレス認証」機能の設定マニュアルはこちら

<https://support.trustlogin.com/hc/ja/articles/25789958680089>

【ファイドツ「FIDO2」とは】

「FIDO2」は、「FIDO アライアンス (Fast Identity Online Alliance)」が定める認証技術の国際規格です。認証において、サーバーが ID パスワードを管理して、クライアントからの情報を基にユーザーを識別する方法が一般的ですが、「FIDO2」は 2012 年頃から、攻撃・情報漏洩リスクが低く安全な認証技術の 1 つとして認知されてきました。しかし、「FIDO2」による認証は、USB 型外付け認証器などの、専用の FIDO 規格対応認証器が必要なため、認証器の紛失によるリスクが懸念されていました。また、専用機器の追加によるコスト増も課題となっており、導入におけるハードルが比較的高い認証手段とされてきました。

しかし、スマートフォンが普及し、身近なデバイスがセキュアかつ便利な認証器として活用できるようになっていることに加え、2023 年には、Google や Apple が「FIDO2」の認証規格に対応したことで、「FIDO」による認証がより身近になり、普及が進んでいます。複数のクラウドサービスの ID とパスワードを一元管理する「GMO トラスト・ログイン」においても、「FIDO 認証」に対応することで、従来の「パスワード」に関連する情報漏洩リスクを排除すると同時に、IDaaS 製品としての利便性とセキュリティ強化に貢献します。

【「GMO トラスト・ログイン」について】 (URL : <https://trustlogin.com/>)

「GMO トラスト・ログイン」は、サービス満足度、導入のしやすさ、サポート品質、価格への満足度において国内 No.1^(※2) に選ばれている企業向けシングルサインオンサービス (IDaaS) です。SAML2.0 のプロトコルに汎用的に対応したフェデレーション方式のシングルサインオンに加え、フェデレーション方式に非対応な Web システムやクラウドサービスの ID パスワード情報の管理・代理入力実行によるログイン作業工数の削減が可能なフォームベース認証に対応しています。これらの複数のシングルサインオン方式に対応することで、「業務に関するシステムへのログイン」を広くカバーします。

また、多要素認証やアクセス制限機能を提供し、認証時の信頼性の向上・第三者からの不正アクセスの防止につながり、ゼロトラスト時代の多層的なセキュリティの強化を実現します。

- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 青柳
TEL : 03-5456-2695
E-mail : pr@gmo.jp

【GMO グローバルサイン株式会社】(URL : <https://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】(URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C)2024 GMO GlobalSign K.K. All Rights Reserved.